

議会だより

17-Seventeen



南に延伸する高速道の一日も早い完成を = (前原町上空から)

市内でも高速道の工事が進み、概要が少しずつ姿を現し町の様相が変貌している。
写真中央には、小松島インターチェンジ（仮称）が出来るなど早期の完成を目指している。

目次

常任委員会報告(9月)	2~4
議会が評価した主な事業	4~6
議案等賛否表	7
9月定例会議の一般質問	8~15
議会モニター会議を開催、クイズ	15
12月定例会議日程等	16

9月定例会 常任委員会報告

総務常任委員会

委員長 廣田 和三

来年度から会計年度任用職員が創設されるに伴う条例等整備

当委員会には、議案4件、陳情5件が付託され、審査の結果、議案4件は原案どおり可決された。可決された議案等は次のとおり。

- ◎議案第68号 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定について、来年度から一般職の会計年度任用職員が創設されるに伴い、関係する条例の整備及び整理を行うもの。
- ◎議案第69号 小松島市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について、来年度から一般職の会計年度任用職員が創設されるに伴い、関係する条例の整備及び整理を行うもの。
- ◎議案第70号 小松島市固定資産評価員及び同補助員に関する条例の一部を改正する条例について、固定資産評価員の欠格事項について、評価員として必要な能力の有無を個別に判断する規定とする等の改正を行うもの。
- ◎議案第71号 小松島市消防手数料条例の一部を改正する条例について、政令の一部改正に伴い、

文教厚生常任委員会

委員長 井村 保裕

他市に先駆け 保育料に副食費も無償化する

当委員会には議案5件、報告2件が付託され、原案のとおり可決した。

- ◎議案第72号 子ども・子育て支援法の改正により、子どものための教育・保育給付に関する「支給認定」が「教育・保育給付認定」に改められたので、所要の改正を行うもの。
- ◎議案第73号 子ども・子育て支援法等の改正により、特定地域型保育事業者等に求められる特定教育・保育施設との連携の要件緩和とともに、3歳から5歳までの子どもの副食費無償化の規定を加える改正を行うもの。
- ◎議案第74号 成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律による児童福祉法の一部改正に伴う引用条文の条すれから所要の改正を行うもの。
- ◎議案第80号・81号 住宅新築資金等貸付金のうち、債権回収業務のこれ以上の回収が困難となった債権を放棄するもの。

◆議案に対する質疑◆

廣田 償還期限が3年後となる中で、まだ未収金2億円ほどあると聞く。行政としての責任の

産業建設常任委員会

副委員長 南部 透

消費税率8%から10%増に伴う条例改正

当委員会では議案6件が付託され、審査の結果、原案のとおり可決した。

- ◎議案第75号 小松島市道路占用料条例
 - ◎議案第76号 小松島市法定外公共用財産管理条例
 - ◎議案第77号 小松島市地域下水道条例
 - ◎議案第78号 小松島市サイクルシアター条例
- 以上4議案は、消費税率引き上げに伴い、消費税率相当額を増額するための条例の一部改正を行うもの。



日峯大神子広域公園

該当する危険物施設の設置許可申請の審査手数料を引き上げ改正するもの。

陳情5件

陳情5件のうち、第4号（第7号までは、6月定例会より継続審査していたもので審査の結果、不採択となった。）

- ◎陳情第4号 辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により民主主義及び憲法に基づき公正に解決すべきとする意見書の採択を求める陳情について。
- ◎陳情第5号 辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により民主主義及び憲法に基づき公正に解決すべきとする意見書の採択を求める陳情について。
- ◎陳情第6号 日本政府に「核兵器禁止条約の調印・批准をすることを求める」意見書採択を求める

る陳情について。

- ◎陳情第7号 米軍普天間飛行場の辺野古移転を促進する意見書に関する陳情について。
- ◎陳情第8号 全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出する事を求める陳情書について。

◆所管事項での質問◆

津川 9月7日に電話の回線障害があったが、119番通報に影響は。消防次長 2時間30分ほど不通になったが、その間市民に防災行政無線や広報車により、119番回線が現在不通であることを周知すると共に119番の迂回設定に努め消防・救急に影響はなかった。

米崎 公用車にドライブレコーダーを設置している車はあるか。総務課長 消防の特殊車両等に数台設置している。



さかの認定こども園給食風景

◆所管事項での質問◆

井内 人間ドックの申し

所在はどうか。副市長 当時の貸し付けの実態について詳細はわからないが、その当時の事務処理が適正でなかった指摘は認めざるを得ない。こういった回収困難な債権については、国や県の補助金の要件に乗せて、市民にはできる限り迷惑を与えないような対応を努めている。

◎報告第26号 住宅新築資金等貸付事業の債権管理条例の規定に該当する債権を放棄するもの。

◎報告第27号 公用車運転中に発生した物損交通事故の損害賠償の報告である。

込みの方法について、現在は早朝から長時間並んで手続きしている。ほかに良い方法はないのか。保健福祉部副部長 現在は先着順であるが、他市においてはがきで抽選というところもあると聞く。今後より良い方法にする。

南部 南小松島駅のトイレの改修はどうか。市民生活課長 県の補助メニューで可能であれば協議していく。

池淵 学校再編の今後のスケジュールは、どうか。教育政策課長 議会の報告の後に、地域住民の地元説明会を10月中旬から11月中旬で行う。その後住民アンケートを行う。

子広域公園（脇谷地区）整備事業において整備する必要のある区域につき、都市公園を設置すべき区域を決定するもの。

◆所管事項での質問◆ 小松島市競輪局は包括業務委託先の公募（7月19日〜25日）を行ったが、応募がなかった。



小松島競輪場

米崎 「小松島競輪場民間委託応募なし。市は条件を見直し、再募集することに」と報道されていたが、その経緯は。競輪局長 小松島競輪開催業務等包括委託及び施設整備業務のプロポーザルを行ったが、参加者がなく中止した。要因として、収益の柱の一つミッドナイト競輪の自場での実施が不透明であること。これを踏まえ地元協議会と協議を重ね、施設整備終了次第、ミッドナイト競輪の実施に同意を口頭でいただいた。10月の再募集へ調整を行っている。

井村 10月のプロポーザルに応募がなければどうなるのか。競輪局長 不調になれば、来年度は直営方式をとらざるを得ない。新たな大幅施設設備、包括業務については来年度以降に検討する。

佐野 老朽危険空き家の除却を市の補正を組んでも進めるべきでは。住宅課長 国費、県費の範囲内で執行していく。

松下 所有者の意思だけでなく、危険な空き家に対しては特別措置法を活用し撤去をしては。住宅課長 危険な住宅には直接持ち主へ除却を求める踏み込んだ対応をしている。

予算決算常任委員会

委員長 佐野 善作

平成30年度一般会計決算・特別会計決算を部局別に審査・抽出した十九事業を事務事業評価し、委員会提出議案として本会議に上程

本委員会は、9月13日・17日・18日・19日・25日・26日の6日間、平成30年度決算認定9議案並びに令和元年度一般会計・後期高齢者医療特別会計・公共下水道事業特別会計の補正予算を慎重審査の上、いずれも認定・可決した。

また、平成30年度健全化判断比率・公共下水道事業資金不足比率・水道事業資金不足比率について、いずれも正常であるとの報告を受けた。

令和元年度一般会計
9月補正予算を可決
補正額
1億1129万6千円
【補正予算のうち主なもの】



佐野委員長(右)から前川議長へ評価報告書を提出

中学校施設修繕費 4024万3千円
旧小松島幼稚園園舎解体工事 2910万8千円
南小松島公民館解体工事 1049万2千円
放課後児童健全育成事業 1116万円
排水機場管理運営事業 1128万4千円

議会が評価した主な事業

議会評価
拡充する

H30年度決算額
801万円

津波緊急一時避難場所を増設し、避難施設になりえる建築物等の建設に掛かる民間への補助金制度、また市民の自助力強化に向け防災士取得の補助金制度を導入すべきである。



災害対策事業

議会評価
現状のまま継続する

H30年度決算額
2億0049万円

国の交付金を受けての事業であり、市民からの要望・期待度も高い。埋蔵文化財調査及び国、県との協議を早期に終え、計画的に令和4年度の完成を目指し、事業を推進すべきである。



完成イメージ図

消防施設整備事業



議会評価
現状のまま継続する

H30年度決算額
4633万円

消防分団詰所の新改築は地域住民から多くの期待が寄せられており、耐震化されていない詰所については順次計画的に整備する必要がある。今後、施設の統廃合も検討していかねばならない。

観光・イベント振興事業



議会評価
現状のまま継続する

H30年度決算額
2300万円

観光・食の魅力等、更なる発信をしていくため、観光プロモーション動画を有効に活用し、注目度を高めることは継続すべきである。小松島市ならではの体験型観光の開発も一層促進する必要がある。

移住・定住促進事業



議会評価
現状のまま継続する

H30年度決算額
895万円

先進地事例なども調査研究し、広告宣伝の強化、受け入れ体制の充実や職の斡旋等に取り組むと同時に、定住候補者のターゲットを定め、Iターン、Uターン等の施策にも早急に取り組む必要がある。

議員の賛否表（令和元年9月定例会議）

議案等	議員名（議席番号順）	委員長報告	南部	津川	近藤	佐藤	井内	橋本	松下	四宮	米崎	廣田	池淵	吉見	出口	井村	杉本	佐野	結果	
			透	孝善	純子	光太郎	章介	昭	大生	祐司	賢治	和三	彰	勝之	一郎	保裕	勝	善作		
陳情第4号	辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決すべきとする意見書の採択を求める陳情について	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	不採択
陳情第5号	辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決すべきとする意見書の採択を求める陳情について	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	不採択
陳情第6号	日本政府に「核兵器禁止条約の調印・批准をすることを求める」意見書採択を求める陳情について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	欠	○	○	○	○	不採択
陳情第7号	米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	欠	○	○	○	不採択
陳情第8号	全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出する事を求める陳情について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	不採択

委員長の報告に対して ○は賛成 ●は反対 欠席の場合は「欠」 ※議長（前川英貴）は、採決に加わりません。

以下の議案 28 件、委員会提出議案 1 件、議員提出議案 1 件は全会一致（欠席者を除く）で可決。

第56号	平成30年度小松島市一般会計歳入歳出決算の認定について	第71号	小松島市消防手数料条例の一部を改正する条例について
第57号	平成30年度小松島市競輪事業特別会計歳入歳出決算の認定について	第72号	小松島市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例について
第58号	平成30年度小松島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	第73号	小松島市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
第59号	平成30年度小松島市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	第74号	小松島市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
第60号	平成30年度小松島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	第75号	小松島市道路占用料条例の一部を改正する条例について
第61号	平成30年度小松島市土地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について	第76号	小松島市法定外公共用財産管理条例の一部を改正する条例について
第62号	平成30年度小松島市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	第77号	小松島市地域下水道条例の一部を改正する条例について
第63号	平成30年度小松島市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	第78号	小松島市サイクルシアター条例の一部を改正する条例について
第64号	平成30年度小松島市水道事業会計決算の認定について	第79号	小松島市水道事業給水条例の一部を改正する条例について
第65号	令和元年度小松島市一般会計補正予算（第2号）	第80号	権利の放棄について
第66号	令和元年度小松島市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	第81号	権利の放棄について
第67号	令和元年度小松島市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	第82号	都市公園を設置すべき区域の決定について
第68号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定について	第83号	公平委員会委員の選任の同意について
第69号	小松島市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	委提第2号	議会評価意見書の提出について
第70号	小松島市固定資産評価員及び同補助員に関する条例の一部を改正する条例について	議提第6号	小松島市議会委員会条例の一部を改正する条例について



陳情第4号・第5号の委員長報告(不採択)に対して賛成討論

佐野 善作 議員

討論

陳情第4号、陳情第5号について
普天間基地は宜野湾市のど真中の住宅密集地にあり、非常に危険な状態である。日米安全保障体制は国民の生命・財産や領土を守るために重要なことであり、沖縄県内の基地は地理的条件から、国の防衛上、重要な位置にある。また、沖縄県の近く、県外で適地があり、早急に基地移転の受入れられるところがあるとは思えない。当初の普天間基地周辺の危険性を除去するという最初の目的を早期に実現するために、この陳情の採択に、反対する。



陳情第6号・第7号の委員長報告(不採択)に対して反対討論

吉見 勝之 議員

陳情第6号について
本来、外交や国防は国の専管事項だが、核戦争の危機の中で、住民の生命と財産を守る事を使命とする自治体が、国家に全てを委託できないとして、国家に対して行う「異議申し立て」の企てとされる。非核平和都市宣言を1984年9月議会でした小松島市議会とすれば採択するのは当然だ。
陳情第7号について
辺野古移設反対派は「基地のたらい回しだ」と言うが、基地の面積は三分の一に縮小。現宜野湾市のど真ん中と、海岸沿いに統合移設するのとどちらが安全か。しかも、辺野古三地区は移設に条件付きで容認している。

空き家等対策事業



イメージ図

議会評価
現状のまま継続する

H30年度決算額
574万円

対策事業の周知、所有者に対して管理・除去を適正かつ計画的に進めていかねばならない。除却が進まない危険な空き家に対しては特定空き家の認定を行い、除却を強く推し進めていくべきである。

その他の事務事業評価

事業名	H30年度決算額	議会評価
防災行政無線管理事業	1522万円	現状のまま継続する
農業振興地域整備計画改定事業	597万円	現状のまま継続する
農業用排水路整備事業	3080万円	現状のまま継続する
市道整備事業	3385万円	拡充する
道路橋梁整備交付金事業	1億2106万円	拡充する
道路橋梁新設改良交付金事業	7429万円	現状のまま継続する
側溝清掃事業	1419万円	現状のまま継続する
合併処理浄化槽設置補助事業	699万円	拡充する
高速道路対策事業	1億2002万円	現状のまま継続する
ごみ焼却施設整備事業	2億0067万円	現状のまま継続する
自殺対策事業（自殺対策計画策定）	388万円	終期設定し終了
障がい福祉サービス事業	10億0755万円	拡充する
公民館整備事業	4265万円	現状のまま継続する

議会評価意見書を市長に提出

平成30年度に実施された事業のうち、議会が重要と判断した19事業について、議会の評価意見書を策定。予算決算常任委員会の委員会提出議案として上程し、本会議において全会一致で可決した。

散会后、前川議長(右)から濱田市長に意見書を提出した。





質問者名	件名	
佐藤光太郎	本市の財政状況について	P9
	会計年度任用職員について	P9
	権利擁護の推進について	P8
松下 大生	民間建築物の耐震化について	P8
	遊休市有地の利用計画について	P9
	市業務の民間委託について	P9
吉見 勝之	ごみ収集について	P11
	公営住宅について	P10
	平成31年4月の市議会議員一般選挙について	
	長期休暇中の学童保育の昼食について	
	施設の管理について	
	「健康いきいき」について	P10
井内 章介	農業振興費について	P10
	少子化対策の取り組みについて	P10
	小・中学校の AED 設置状況について	P10
杉本 勝	ごみ処理施設の広域化について	P11
	日峯大神子広域公園について	P11
	防災について	P11
池淵 彰	公園・森林整備について	
	免許証返納について	
	高齢者にやさしいまちづくり政策をもっと積極的に	P12
四宮 祐司	子育て世代への魅力づくりのあり方について	
	魅力ある強い農業づくりについて	P12
	高齢者問題について	P13
橋本 昭	消費税の引き上げについて	
	四国横断自動車道について	P12
近藤 純子	ごみ広域処理計画について	P13
	市役所で働く非正規労働者改善について	
	防災情報に対する最新の取り組みについて	P14
南部 透	いつまでも暮らしやすいまちづくりについて	P14
	四国横断自動車道にかかる周辺対策について	P15
	農業用水路整備について	P14
南部 透	JR 駅について	P14
	主権者教育の推進について	P15

権利擁護（法人後見）の推進は

啐啄の会 佐藤 光太郎 議員

答 現状において
推進が必要である



佐藤 現在本市において、高齢者数12700名、そのうち1200名程度の人が認知症状があるがどのような対策をしているか。

意思を尊重した支援が行えるので必要な制度である。

介護福祉課長 日常生活自立支援事業を社会福祉法人で行っている。

佐藤 国では2025年問題への対策、とりわけ、成年後見制度利用の迅速な推進が必要ではないか。

介護福祉課長 少子化・高齢化が進んでいる現状において推進は必要である。



本市の財政状況は

佐藤 財政調整基金の大幅な減少と、経常収支比率及び将来負担率が悪化しているが昨年度の決算状況は。

総務部長 平成30年度普通会計の単年度収支額は3795万円の黒字決算であるが、市税や地方交付税の減少、また、先送りをしていった大型事業や老朽化した施設への対応のため財政調整基金・減債基金の合計5億3618万円を取り崩した。

介護福祉課長 法人後見であれば持続性があり、本人の資産が少なく専門職による後見人の選任が困難な事案にも対応しやすく、また、日常生活自立支援事業で培ったノウハウを活用でき、本人の

佐藤 今後の見通しは。
総務部長 社会情勢への対応等財政需要の高まりが予測されるが、事業実施にあたり、人口減少社会を見据えた施設等の適正管理の推進等のトータルコストの削減による財政負担の軽減を図る。

臨時・非常勤職員の制度改正に伴う財政負担は

佐藤 会計年度任用職員制度と財政負担は。

人事課長 地方自治法・地方公務員法改正により従来、臨時的任用職員・非常勤職員として雇用されていた職員が次年度より当該制度の対象となる。支出は増額すると予測されるが、財政措置の要望を行っている。

佐藤 処遇が悪くなる人はいないのか。
人事課長 制度上減額となる場合もあるが、3年間は差額の相当額を支給する。

民間建築物耐震事業の申し込みが年間を通してできるように

前進クラブ 松下 大生 議員

答 長い期間の募集を可能とすることも1つの方法と考えている



松下 民間建築物の耐震化は、地震に備え人命を守るために必要な事業であり、本市では、耐震改修促進計画が策定されて以来、建築物の耐震化を進めているが、全然進んでおらず、早急に耐震化を進めなければならぬ。

するなど、より長い期間募集をすることも1つの方法と考えている。

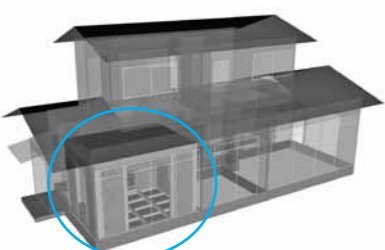
市有地の遊休地利用について

松下 今後、統廃合による学校などの教育関連施設や除却予定である公営住宅等の跡地といった未利用予定地が増えることが予想される。未利用の土地の資産整理、また、活用を計画的に進めるために利用計画または、基本方針などを策定し、計画的な取り組みを進めている自治体もあるが、本市は計画性が見えない。計画的に進めていく必要があると思うが。

市業務の民間委託について

松下 近年の財政状況は、大型公共工事を控えている状況を鑑みると、まだまだ歳出削減に力を入れる必要がある。他市町村では業務の民間委託を行い、コスト削減に大きな成果が出ている自治体もある。今後、どのように取り組みを進めていくのか。

は。



耐震工法の1つである耐震シェルター

住宅課長 この制度を利用する側にとつて、より使いやすくするため、募

集開始時期を少し前倒し

については、今後の課題として必要性を含め協議・検討をしてみたい。

市営住宅使用料の滞納対策は

やまももクラブ 吉見 勝之 議員

答 悪質な滞納者については、積極的に訴訟を提起する



吉見 住宅使用料徴収残高が次のように増えている。対策は。

	年度末未収金	前年度との増減
26年度	4億0954万円	2532万円
27年度	4億2348万円	1394万円
28年度	4億2593万円	252万円
29年度	4億1685万円	△908万円
30年度	4億1937万円	252万円

骨髄移植ドナー助成金制度とドナー休暇制度は

吉見 ドナーは事前の検査や検診、入院して骨髄採取、採取後の検診と仕事を合計1週間以上休む必要がある。本人だけでなく職場に対する助成制度を本市も導入しては。

保健センター所長 569

市町村が実施。予算の半分を都道府県が助成するところもあり、県の動向を注視し研究する。

吉見 本職員にドナー休暇制度は有るか。

人事課長 国家公務員の制度にならって、平成5

年に導入された。

鳥獣被害防止事業100万円とは

吉見 令和元年度の予算に鳥獣被害防止事業100万円計上されているが、小松島市有害鳥獣捕獲対策協議会へ委託している事業費、財源、収支決算書の監査などは。

産業建設部副部長 小

松島市有害鳥獣捕獲対策協議会の事業費は約172万円。内訳は市100万円、JA45万、繰越金27万円。有害鳥獣捕獲業務を小松島地区猟友会に120万円で委託。その他、被害対策実

少子化対策について

令和の会 井内 章介 議員

答 就学前施設の統廃合は、認定こども園化に



井内 今年10月から幼児教育・保育料の一部無償化が実施されるが、要点は。

児童福祉課長 幼稚園・

認可保育所・認定こども園などに通う全ての3歳〜5歳児及び住民税非課税世帯の0歳〜2歳児の保育料を無償化する。

井内 就学前施設の統廃合について、あり方検討会で協議しているが、今年度がプラン5年間の最終年度であり、ある程度方向性は出せるのか。

保健福祉部長 就学前教

育・保育施設の運用状況、小学校再編計画等を踏まえながら認定こども

園化に向け進める方向である。

小中学校のAED設置状況について

井内 小中学校のAEDの設置台数は。また、設置場所の明示がされているのか。

学校課長 市内全ての小

中学校に1台以上設置しており、設置場所は玄関やAEDの設置場所付近など目につくように表示している。

井内 市内13校で講習会を定期的に実施しているのか。また、規模の大きい学校にAEDを増やす考えは。



救急救命法講習会

ごみ処理施設の広域化について

井内 ごみ処理施設の広

施設に侵入防止柵の整備を予定。差し引きが生じた場合には、今後の支援程度について厳正な審査を行う。

粗大ごみの戸別収集の注意点は

吉見 粗大ごみの戸別収集時の注意点は。

環境衛生センター所長

年間6回、1回5点まで収集。申込み後、衛生センターから送られるシールを貼り、収集日当日午前8時半迄に、指定した場所へ出す。シールが貼られていないもの、申込みの品目や時間が違うものは収集できない。



粗大ごみは手作業で解体し、リサイクル又は焼却処分する

域化計画のこれまでの経緯と現状は。

市民生活課長 平成29年

3月、広域処理に関する協定書を締結して以降、建設候補地隣接の田浦町、前原町、新居見町、江田町の地元協議会をはじめ市民説明会を開催し、地元のご理解・ご協力に

努めている。

井内 建設予定地の地元

飯谷町及び周辺地域の住民から水質汚染等を危惧し反対運動が起こっているが。

市民生活課長 排水処理

等環境に配慮した施設であり、環境影響評価を行い、万全の対策を行う。

井内 周辺住民等の反対があっても広域化を推進するのか。用途は。

市長 広域整備は財政メ

リットがあるため、市民の事業理解に努めたい。また、現施設の老朽化など課題を抱える関係市町と共に徳島市の事業進捗に応じ推進したい。

日峯大神子広域公園の整備について

新風はなみずき 杉本 勝 議員

答 埋蔵文化財発掘調査後、公園整備を推進する



杉本 日峯大神子広域公園の進捗状況は。

まちづくり推進課長 テ

ニスコート及び児童公園等の一部撤去工事や公園整備に支障となる工作物等の移転、また、本年5月には野球場内の全面の試掘調査を終えた。現在、

公園駐車場の確保に向けた取り組みを進めている。

杉本 この工事はいつから着工できるのか。

まちづくり推進課長 公園用地内における本年度の遺跡の試掘調査を受けて、土器などの異物等の存在が確認され、県から

は日峯大神子広域公園整備工事施工前に発掘調査が必要と指示があった。

公園整備の設計や工程スケジュールをもとに、現在、教育委員会と発掘範囲の場所、費用等を含めて協議を進めており、協議が整い次第、本年度内

にも発掘調査に着手する。

避難目標地点とは

杉本 避難目標地点（ミ二四国88カ所遊歩道）とは。

危機管理課長 ミ二四国88カ所は、元根井漁港側から日峯山の小松島灯台を經由し、山頂付近に至る遊歩道である。平成26年度2月に策定した本市の津波避難計画において、避難目標地点となつている。津波の危険から命を守るため、地域住民の方が避難の目標として津波浸水想定区域外に設定した地点は、市内に43カ所設定されている。

杉本 目標地点に街灯設

備は。

危機管理課長 当場所に

夜間照明は設定されていない。公園の環境設備にもつながる夜間照明の設置は、今後管理者である徳島県に要望する。

遊歩道の街灯設備は

杉本 遊歩道の延びた木により照明が遮られ、地



日峯ミ二四国88カ所

面が見えにくい場所や、街灯が長期間故障したままのものがある。対応は。
都市整備課長 遊歩道の照明灯は夜間の安全な通行の確保や防犯上重要な役割を担っており、故障については早期復旧に努め、照明の支障となる樹木管理についても管理徹底していく。

認知症対策のひとつとして、GPS など見守りシステムの導入を

みらいの会 池淵 彰 議員

答 年度内に取り組めるもの
ならば、早急に取り組みたい



池淵 認知症対策についての取り組みは、

介護福祉課長 地域や職

域で認知症の人や家族を手助けする認知症サポートの養成を進めている。今年度は、小学生、中学生にも講座を行う予定である。また、認知症初期集中支援チームの体制を整え、複数の専門職が認知症の疑われる人や認知症の人、また、その家族に対して、初期の支援を包括的・集中的に行っている。

池淵 徘徊の恐れのある認知症の方にGPS機能を靴につけるようなチップなどがあり、心配する



見守りあんしんシール着用イメージ

家族には非常に安心できるものである。行政として導入の考えは。

保健福祉部長 包括支援

センターで把握している徘徊や行方不明となった事例が昨年度7件、今年度は8月末で同数の7件で、ご家族や関係者は大変心配であったと思う。GPSや見守り安心シールなどの探知システムの

農業振興 地域整備計画は

池淵 農業振興地域整備

計画の具体的な施策は。産業建設部副部長 農用地利用計画と農業振興地域の一体的な整備のための計画により構成する。和田島地区で農地中間管理機構が借り入れる農地について、徳島県が農地の大区画化等の基盤整備

四国横断自動車道完成に向けた 市の取り組み状況は

公明党 四宮 祐司 議員

答 立江榑渚地域活性化ICの連結許可、立江榑渚・阿南間の先行供用を国に強く訴えている



四宮 阿南・徳島東間は、

国の直轄区間であり、通行料も無料区間となり、完成が待たれるが、四国横断自動車道完成に向けた市の取り組み状況は。

産業建設部副部長 新直

轄区間の阿南・徳島東間における今年度の当初予算で、昨年度の3割増しとなる過去最大の約177億円が確保され、供用までの工程決定の鍵となる羽ノ浦トンネルの整備について、5年程度で工事を完成させるための予算が盛り込まれた。立江榑渚地域活性化インターチェンジの連結許可を要望するとともに、先

行して工事着手した立江榑渚・阿南間からの先行供用を強く訴えている。

四宮 本市の将来の発展

につなげるための鍵を握る立江榑渚地区のインターチェンジの実現に向けた取り組みは。

産業建設部副部長 地域

活性化インターチェンジと地域振興拠点施設の一体的な設置により、高速道路のストック効果が最大限発揮できる。徳島県及び関係市町と連携強化のもと、立江榑渚インターチェンジの連結許可及び立江榑渚・阿南間からの先行供用が図られるよう、取り組んでいる。



完成が待たれる四国横断自動車道(前原町)

高齢運転者の 交通安全対策は

四宮 全国でも高齢運転

者の死亡事故の割合が高まっており、対応が急務となっているが市内の高齢者による交通事故の発生状況は。

市民生活課長 交通事故

件数は減少しているが、は、一定程度認識している。引き続き、今後においても、事業主体の徳島市の事業進捗に合わせて事業理解に努める。

65歳以上の高齢者が関与した事故は、平成29年が83件、全体の件数の中で高齢者が関与する割合は微増で推移している。

四宮 これまでの免許の

継続が返納かという二者択一ではなく、市民が安全・安心な日常生活を送るうえで、現在取り組んでいる高齢運転者の交通安全対策は。

市民生活課長 市独自の

新たな取り組みとして、ドライパー個人の運転に係る認知・察知能力低下の抑止を目的に、自動車運転教習所でのシミュレーター体験など、実践的な研修を実施する。

ごみ広域処理施設建設予定地の 地元反対運動についての認識は

日本共産党 橋本 昭 議員

答 建設候補地における反対に向けた状況は、一定程度認識している



橋本 大型焼却炉建設候

補地の地元では反対運動が盛り上がっている。徳島市飯谷町の一つの集落では、これまで声を上げなかつた女性たちが一斉に声を上げ建設反対の決議をしている。また、多

の若いお母さん達が、子どもの未来は必ず守ると

言っていて、広域ごみ処理施設の建設計画の白紙を求めて「ごみ問題学習会」を開き、焼却炉建設反対の幟が町内一円に立てられている。さらには、自動車にスピーカーを載せ

て、「命と水と大気を守れ」と、熱心に訴えている人もいる。建設候補地の反対運動を、小松島市

当局はどのように見ているのか。
市民環境部長 建設候補地周辺地域における反対に向けた状況について



環境衛生センター(芝生町)

橋本 飯谷町で反対運動

をしている幹部が、徳島市長に質問状を出した。その返事が昨年の5月に文書で幹部の家に届いた。この文書には、「飯谷町協議会は任意団体であり、法令等に規定され

を問われるのは市側だけである」と。そして、地元対策協議会に対して「市は助言を控えるべきだ」と述べている。その理由として、市の御用聞き

の組織であるかのよう誤った印象を与える恐れがある」と述べている。この文書の作成には弁護士が関与している。「徳島市長の責任に及ばないように配慮する」。私は、

の徳島市での見解との認識なので、本市の立場として特段答えることはない。

市民生活課長 事業主体

施設内の処理設備

防災情報に対する最新の取り組みはできているか

新風はなみずき 近藤 純子 議員

答 洪水(土砂災害)ハザードマップは最新情報に更新し、今年度中に市民に届ける業務を進める



近藤 小松島市では防災ハザードマップWeb版をこの4月に立ち上げ、パソコンや携帯電話から確認できる。周知してほしいが、市の取り組みは、



近藤 Web版は手軽であるが、急いで確認できない現状がある。市作成の洪水(土砂災害)ハザード

マップは平成19年のものであり、かなり古い。緊急に新しく作成する必要がある。市の考えは、

危機管理課長 Web版の機能を生かせるよう、市民・市外の方にも、防災講話等を通じ周知に努める。

危機管理課長 Web版の機能を生かせるよう、市民・市外の方にも、防災講話等を通じ周知に努める。

いつまでも暮らしやすいまちづくりに向けて

近藤 中心市街地が繁栄を支えたが、車社会への

まちづくり推進課長 公聴会、説明会等を通じて思いを計画に反映する。

四国横断自動車道に係る周辺対策(市道田浦43号線の整備)は

近藤 新居見町から田浦町の側道整備の進捗は、

「神田瀬川・芝生川」の整備及び維持管理は

近藤 神田瀬川と芝生川上流の繁茂が激しいが、維持管理の継続実施は、

商工観光課長 駅に観光案内書を設置、重要な拠点施設と認識している。

南 本制度は、負担面

南 10年以上にもなる制度のため、数千万円もの整備資金が活用できていない地域もある。活用されていない地域への今後の後押し、また既存組織への取り組みは、



南 本市は、負担面

南 小松島西高校の最寄り駅である中田駅のトイレ廃止撤回を。

至誠コマツシマ 南部 透 議員



農業用水路や道路の整備に交付金の更なる活用を

答 対象地域の拡大、組織の強化を図る

多面的機能支払交付金制度とは、農業・農村の有する多面的機能(生物多様性保全機能、水質浄化機能)の維持・発揮のため地域活動に支払われる。

からも市に有利な直接支払交付金制度。前身の制度を含めると10年以上になるが活用できていない地域がある、現状は、

に努める。また、既存の組織へは組織の広域化や体制強化を図る。

南 本制度は、負担面

南 10年以上にもなる制度のため、数千万円もの整備資金が活用できていない地域もある。活用されていない地域への今後の後押し、また既存組織への取り組みは、

に努める。また、既存の組織へは組織の広域化や体制強化を図る。

南 本制度は、負担面

南 10年以上にもなる制度のため、数千万円もの整備資金が活用できていない地域もある。活用されていない地域への今後の後押し、また既存組織への取り組みは、

に努める。また、既存の組織へは組織の広域化や体制強化を図る。

議会モニター会議を開催しました

令和元年7月25日、議会モニターの皆さんと議員との「第1回モニター会議」を開催。委嘱後、初めての議員との会合であり、自己紹介の後、モニターの皆さんから議会運営等について意見交換を行った。



<議会に対する意見>

- ・議会傍聴、来てみないとわからないことがあるということに改めて気づいた。(若林勝弘)
- ・委員会の録画放送は音が明瞭ではない、改善を。(若林勝弘)
- ・議員個々のSNSを大いに活用し、情報発信を。(松本真樹)
- ・新しい議員も加わり、新たな議会改革に期待したい。(若林勝弘)
- ・選挙の時だけでなく、普段の議員の活動に対する市民の関心・期待度が投票率に反映される。(上甲清子)

※その他、多数の御意見をいただいた。

出席モニター

上甲清子、谷澤義治、前川和子、松本真樹、山本 潤、若林勝弘 (50音順・敬称略)

クイズ

徳島県のシラス(ちりめんじゃこ)漁獲量は3,037トンで、平成28年の農林水産統計では全国第9位です。このうち、和田島漁業協同組合の漁獲量が約54%を占めているのですが、さて、シラス(ちりめんじゃこ)は主に何の稚魚でしょうか。次の3つからお選びください。

- ①サメ ②マグロ ③カタクチイワシ



応募方法

はがきに答え・住所・氏名・年齢を記入。正解者の中から、抽選で5名様に図書カード1000円分プレゼント! [当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。]

あて先 〒773-8501 小松島市横須町1番1号 小松島市議会事務局 (締切日 令和元年11月30日消印有効)

前回もたくさんのご応募、ありがとうございました。

前号クイズの答え

オクラの花は? 答え ②



令和元年12月 定例会議 日程

◎開会時刻はすべて午前10時です。

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
		開会	休会 (議案調査)	質疑 一般質問	質疑 一般質問	
8	9	10	11	12	13	14
	休会 (予備日)	総務 常任委員会	文教厚生 常任委員会	産業建設 常任委員会	予算決算 常任委員会	
15	16	17	18	19	20	21
	休会 (事務整理)	議決・散会				
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	※12月5日(木) 午後0時20分～50分 ふれあい市議会コンサートを開催予定			

議会を見学しよう

定例会議は、3月、6月、9月、12月に開催します。すべての会議、委員会で傍聴できます。皆さんの傍聴をお待ちしています。

議会を読もう

議会だより「Seventeen」は、2月、5月、8月、11月の各5日に発行します。ぜひ、皆さんの生活に密接に関わる議会の活動を知る時間にしてください。

議会を動画で見よう

本会議の様様をケーブルテレビでライブ中継をしています。翌日夜、録画再放送も行っています。委員会はインターネットで録画配信をしています。

議会に参加しよう

議会に対して陳情等を提出することができます。陳情とは、特定の事項について議会などに実情を訴え、適切な措置を要望することです。

発行／小松島市議会
議長 前川英貴

ふれあい市議会コンサート

定例会議の一般質問初日（9月5日）のお昼休み、本会議場にて「ふれあい市議会コンサート」を開催し、『小松島コーラス・マリン』の皆さんにご出演いただきました。議場に素敵なピアノの音色と合唱の美しいハーモニーを届けてくださいました。



編集／議会広報特別委員会
委員長 廣田和三

昭和30年頃の赤石港



赤石山から和田島方面を望んだ風景。遠く和田島大手海岸までは、ほとんど家屋は見えない。



現在の風景

今昔風景⑥

写真で見る市内の

広報委員

- 委員長 廣田和三
- 副委員長 津川孝善
- 委員 吉見勝之
- 委員 橋本昭
- 委員 井内章介
- 委員 近藤純子
- 委員 佐藤光太郎
- 委員 南部透

「議会だより、どれくらい読んでますか？」という問いに、読んでいる方が多い。読んでいる方が多いのは、議会だよりが、市民の生活に密着しているから、広報委員会でよく議論します。見やすさ優先でデザインから変える、内容充実のため議員発言の中身を磨く、QRコードから動画配信する…など、意見はさまざま。

今後、市民の皆さまにもコメントをいただけるようホームページにご意見窓口を設けることを検討中。実現した際は、ぜひ建設的なご意見を投稿ください。（津川孝善）

編集後記